

第2学年 国語科書写（硬筆教材）指導案

授業日

指導者

1. 単元名 かん字①

2. 単元目標

○文字にはおおよその形(概形)と中心があることを理解し、中心をそろえて正しく書くことができる。

(知識・技能)

○文字の中心を確かめて、中心を意識しながら丁寧に書くことができる。 (思考・判断・表現)

○文字の中心に気を付けて書こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 指導にあたって

(1) 教材観

学習指導要領国語科第1学年及び2学年の書写に関する事項は、「ア 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。」「イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方に注意して、筆順に従って書くこと。」とある。本単元は、漢字の基本的な点画の名前、書き順、概形、中心について指導し、正しく整えて書くことができるようにすることがねらいである。日常生活の中で書き順や全体的な概形と中心を意識し、正しく漢字を書くことにつながるために適した教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は文字を丁寧に書きたいという思いをもち、書く姿勢や筆記具の持ち方、画の方向や画の長さなどに気を付けて書くことを意識している。学んだこと生かし、宿題の漢字ノートを手帳に書いてシールをためたり、キラリノートとして教室に掲示されたりし、教師や友だちから認められることに喜びを感じている児童も多い。しかし、日常生活では、その意識が薄れ、手本がなければ崩れた字形の文字を書いてしまい、書写の時間に学習したことが身に付いているとは言い難い。

(3) 指導観

本時では、既習内容を基盤とし、中心に気を付けて書くことで、字形を正しく整えて書くことができるようにしていく。個別探究Ⅰでは、「千」「立」「会」をどのように書くと美しく書けるか考えさせる。協同探究では、書いた漢字を書画カメラで見せながら、書くときに気を付けたことを共有していく。そして、文字を正しく整えて書くためには、字形や中心をとらえて書くことが大切であることに気付かせる。文字の中心を揃えて書くよさを考えさせることを通して、文字の中心が揃うと字形が整い、美しく読みやすい文字が書けることに気付かせたい。

4. 本時の目標（わかる学力）（第6時／全7時間）

中心になる画や部分を見つけ、中心を意識しながら、字形を整えて書こうとしている。

5. 評価

A：文字の中心になる画や部分を見つけ、中心を意識しながら、字形を整えて正しく丁寧に書こうとしている。

B：文字の中心に気を付けて丁寧に書こうとしている。

6. 本時の展開

学習活動 ○教師の発問 ・予想される児童の反応例

- 1 **前提問題** 前時までの学習を振り返る。
・正しい姿勢 ・点と画 ・書き順 ・おおよその形

2 **導入問題**

試し書き

自分の思う うつくしい「千」を書こう。

3 **個別探究 I**

○ワークシートに自分の考える美しい字を書く。

4 **協同探究**

《予想される児童の考え》

- ・たて画をマスの線に合わせて書けばいい。
- ・左右をバランスよく書けばいい。
- ・マスいっぱい大きく書けばいい。

他の漢字（「立」「会」）について考えさせる。

○どのようなことに気をつけて書くと美しく書けますか。

- ・1画目やくつつくところを真ん中（中心）に書く。
- ・よこ画の左右の長さを同じにする。

《関連づけ発問》

○3つの文字とも同じように気を付けることは何ですか。

- ・たて画が真ん中（中心）になるように書く。
- ・よこ画が左右同じ長さになるように書く。

《追究型発問》

○中心をそろえて書くよさは何ですか。

- ・まっすぐそろっているので、読みやすい。
- ・文字が美しく見える。

○「千」「立」「会」を中心に気を付けてまとめ書きする。

5 **展開問題（個別探究 II）**

中心を考えながら、「牛」「金」「山里」「音楽」
書こう。

○ワークシートに書く。

6 振り返りをする。

○文字の中心を考えながら、自分の名前を書く。

【導入問題のよさ】

- ・中心がそろっていない文字を見せることで、美しい文字とは正しく丁寧に書くだけではないことに気付かせる。

【協同探究の進め方・工夫】

- ・書写体操や前提問題で、前時までに学習したことを意識づける。
- ・気を付けたことをワークシートに印をつけたり、メモをしたりさせる。
- ・書画カメラを活用し、どこに気を付けて書いたらよいか視覚的に分かるようにする。
- ・中心を揃えて書くよさを問い、読みやすいことや美しく書けることに気付かせる。
- ・自分の書いた試し書きとまとめ書きを比較することで、自己評価ができるようにし、達成感を感じさせる。

【本時の本質】

- ・文字の中心になる画や部分を見つけ、中心を意識しながら、字形を整えて丁寧に書こうとしている。

【展開問題のよさ】

- ・文字が変わっても、中心を見つけると、正しく美しい文字が書けることに気付くことができる。